

ほけんだより

春日井市立坂下中学校 2010. 11.18 No.7

11月12日（金）

平成22年度 第2回 学校保健委員会

すこやかな心をめざして

～言葉で心を伝えよう～



を開催しました

「言葉」によるトラブルで多くの人が、悩み傷つき保健室に来室します。仲間とうまくかわれない、自分の気持ちを素直な「言葉」で伝えることができない、「言葉」で伝えることができないもどかしさから、つい暴力をふるってしまう、そんな人が多くいます。

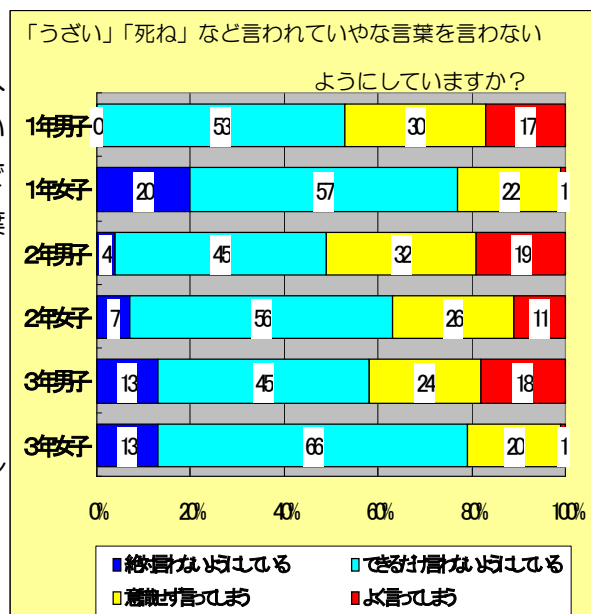
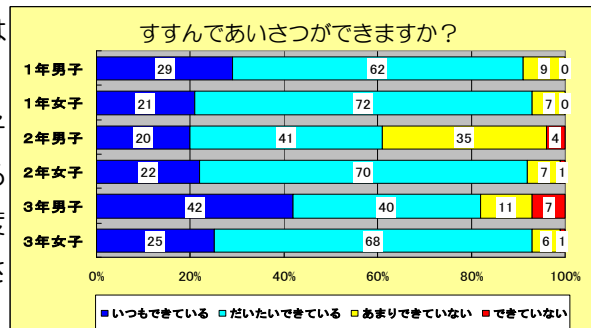
今回の学校保健委員会では、場に応じた言動ができる子をめざして、あいさつを含めた言葉づかいや、人間関係を良好に保つ態度を考えさせ、自分の気持ちを「言葉」で伝えることの大切さを考えさせる機会としました。

☆ アンケート結果より

「自分からすすんであいさつができますか？」では2年生の男子以外は「すすんであいさつをしている」という生徒がほとんどでしたが、朝のあいさつの様子では、なかなか自分から大きな声であいさつができる人が少ないように感じます。これからも、適切な態度と声で、相手に気持ちが伝わる「気持ちが良いあいさつ」がいっぱいの坂下中にしたいですね。

人を傷つける言葉に対しては、人から言われると、すぐ傷つくのに、自分は軽い気持ちで言ってしまう人が多くいました。また、目上の人に対する言葉については、気をつけて話しているという人が多かったのですが、今後はさらに、相手に敬意が伝わるような言葉遣いを色々な場面で知らせていきたいと思いました。

「すすんであいさつができる」「場に応じた言動ができる」「目上の人に対する接し方や敬語」これらを定着させることで、コミュニケーション能力を高め、自分も周りの人も大切にできる人になってほしいと思います。



☆ 「占いとあいさつの心理～占いが気になるのはなぜだろう～」

臨床心理士の西川絹恵先生のお話より

事前に生年月日から “自分の色” を知って体育館に入り、その色と占いの関係は何なのか、友達や先生の色は何色？と興味津々の中、西川先生のお話が始まりました。

「実は動物占いです」ということで、次々とそれぞれの色の動物が発表されました。自分の色の動物が発表され、その性格や好きなこと嫌いなこと、仲間さがしのポイントなどの話を聞く時は、どの顔も笑顔がいっぱいになり、うんうんとうなずく姿や、「えー」と恥ずかしそうにしている顔や、近くの人と笑い合う声が体育館にひろがりました。その後、動物同士の相性を聞きながら、友達同士の相性を考えました。

占いは自分を知りたい、相手との相性を知りたいと思う心理から、気になるもの。あいさつは、自分を知ってほしい、と気持ちを伝え、返されるあいさつから相手の気持ちを感じるもの。

普段、何気なく交わされてるあいさつの力の大きさ、そのあいさつが人間関係にまでつながる、というお話をしていただきました。



☆ 生徒の感想より

- 動画で自分があいさつをしているのに声が小さく、聞こえないのがわかりました。もう少し大きな声で、相手の顔をみてあいさつをしようと思います。
- 私は、軽い感じで人を傷つける言葉を言ってしまうから、気をつけようと思った。
- あいさつを含めた言葉は、使い方人間関係がよくなったり、崩れたりすることがわかり、気をつけて使っていかなくてはいけないと思った。
- 自分の色や性格が当たっていたり、友達の性格が当たっていたり、とおもしろかったです。あいさつをすればみんなと仲良くなれるんだ、と思いました。
- 色で何がわかるんだろう、と思っていました。西川先生の話聞いて自分に当てはまることもあって、とてもびっくりした。あいさつの力は素晴らしいと思いました。明日からあいさつに気をつけて、たくさんの友達となかよくなりたいです。
- 占いの結果は正直あんまり自分的にはあたってないな、と思いました。でも自分が気づいていないだけで、本当はこんな人なのかも、とも思いました。あいさつは、普段は「おはよう」だけだったけど、明日から「〇〇さんおはよう」といってみようと思います。
- あいさつの大切さについて気づきました。西川先生が言ったとおりに、大きな声であいさつをすると、相手により印象を与えることができ、相手との仲がいっそう深まると知りました。

